



モユク・カムイ ^{NO.} 103

●モユク・カムイとはアイヌ語で「エゾタヌキ」のことです。 January 2020

ASAHIYAMA ZOO NEWS

あさひやまどうぶつえんニュース



もくじ

- ほくは動物大使 その64
KING OF BEASTS ライオン.....1.2
- 特集 旭山動物園弓ひろばが完成!.....3.4
- 飼育研究レポート
チンパンジー・ミナの群れ移動.....5
- 動物園裏側紹介「サル舎」編.....6
- 主なできごと
編集後記・飼育動物数.....7

ライオン

Panthera leo

ライオン

学名 *Panthera leo*
分類 食肉目(ネコ目) ネコ科

サハラ砂漠以南のアフリカ大陸、およびインドの一部に生息。熱帯雨林とサハラ砂漠内部を除くサバンナや、草原、森林などの多様な環境を利用する生息地耐性を持っている。かつては北アフリカや南西アジア、西ヨーロッパなど広範にわたって生息していたが、現在の推定野生生息数は23,000~39,000頭となっており、過去21年間で43%減少したとされている。減少の主な要因はヒトの命や家畜を守るための無差別な駆除、生息地の喪失、密漁やブッシュミートとしての取引などがある。IUCNのレッドリストでは危急種(VU)に指定され、個体数の多くは管理された保護区に生息している。

ネコ科の中ではトラに次いで体が大きく、プライドと呼ばれる群れを作る。

寿命は野生下で10年、飼育下で25年ほど。

ライオンの分布

濃い部分=生息範囲



ぼくは動物 KING OF BEASTS

からだ

性的二形が顕著でオスとメスで外見が大きく異なる。

体長 オス 2.6~3.3m

メス 2.4~2.7m

体重 オス 150~240kg

メス 120~180kg

たてがみ

成熟するにつれ厚く長く栄養状態や健康状態によって色が変わり、黒い方がより健康的でテストステロンが多い傾向がある。よって、メスはたてがみが黒いオスを魅力的に感じる。

獲物

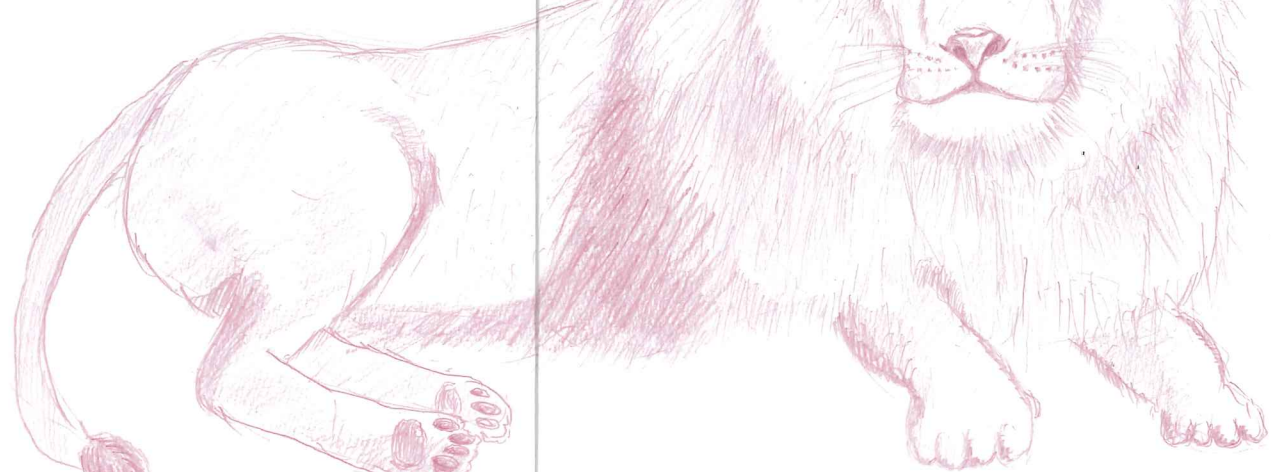
ヌーやインパラ、シマウマなどの中型から大型の草食獣を主に捕食する。鳥類やウサギ、齧歯類など小型の獲物も利用。

集団で狩りを行い、時にはキリンやゾウ、カバなどを襲うこともある。屍肉を食べたり、他の肉食獣の獲物を奪うこともある。

繁殖

特定の繁殖期はなく、概ね2年ごとに繁殖する。妊娠期間は4ヶ月ほどで産子数は1~4頭。

群れのメスは排卵を同調し、同時期に出産することで、子育てを助け合い、子の生存率を高めているとされている。



大使 その64

~ライオン~

舌

他のネコ科動物と同様に、表面はおろし金のような角質の舌乳頭があり、骨から肉の薄片をきれいになめ取ったり、毛づくろいの際に寄生虫をとるのに役立つ。



咆哮

ライオンの咆哮は主に、テリトリーの主張や攻撃、群れの仲間とのコミュニケーションとして使用。8kmほど離れていても聞くことができる。

旭山のライオン



オリト(オス)

昨年8月に桐生が丘動物園より来園。

来園当初は新しい環境に慣れず臆病な感じでしたが、今では身体も大きくなり大人になりつつあります。ですが、行動はまだまだやんちゃです。

旭山動物園では1967年の開園当初からライオンを飼育しています。その中でもライラ(オス)とレイラ(メス)の夫婦はたくさんの子を残してくれました。ライオンらしい堂々として凛とした姿や子育ての様子など、動物園を訪れた多くの人たちを魅了してくれました。

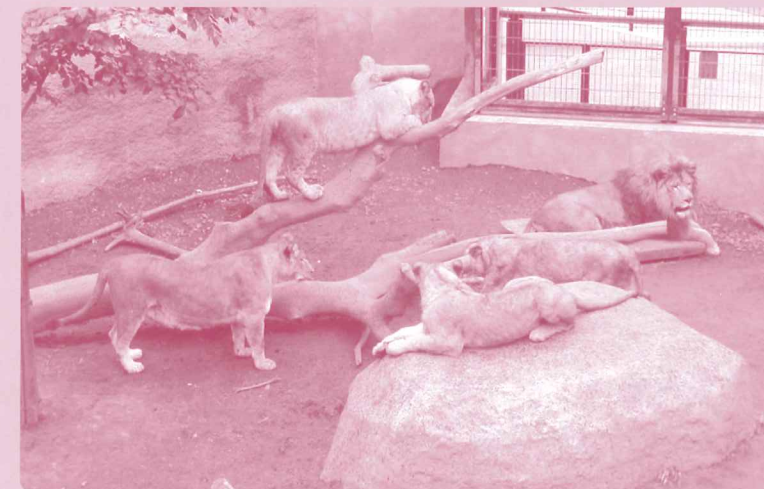
新しくやってきたオリトもこの2頭のように多くの人に愛され、立派なライオンになってもらいたいと期待しています。

ライオンの群れ「プライド」は母系集団、

ライオンはネコ科の動物の中で最も社会的で、「プライド」と呼ばれる群れを形成します。プライドの構成は血縁のあるメス数頭とその子ども、そしてオスのライオン1~2頭で、概ね大人のライオンが6頭前後ですが、40頭ちかい大きなプライドも観察されています。プライドの中で生活しますが、オスの子どもは成熟すると追い出さずとも単独で行動しますが、他のオスと行動を共にすることもオスから奪うために戦いを挑んでいきます。勝つことができます。奪ったプライドの中でのオスは、寝てばかり、縄張りの見回りをしたり、子どもの面倒を見たり、部外者プライドに入っても、ほかのオスと常に争い、負ければ去らぬ厳しい生存競争にさらされて生きているのです。

オスはけっこう大変?

プライドの中で生まれたメスは、そのままプライドで生活し、自分の子孫を残す役目があります。苦労してオスのライオンはいつも



特集 旭山動物園号ひろばが完成!

約10年間札幌と旭川を結び親しまれた「旭山動物園号」。車内・外は旭山動物園の動物たちがたくさん描かれ、楽しめる空間でしたが、2018年3月、惜しまれながら運行を終了しました。

たくさんの方々の記憶に残るこの「旭山動物園号」を「何とか園内に動物園号の世界観を再現した空間を作ることはいかないか」様々な議論を経て、ネックである資金調達のため、クラウドファンディングを実施する運びになりました。

6月17日～8月23日までの間に行ったクラウドファンディングではたくさんの方々のご協力をいただき、目標金額をはるかに上回ることができ、見事達成することができました。9月下旬から工事が始まり、11月17日イベントホール1階に「旭山動物園号ひろば」として完成しました。

ここでは、旭山動物園号ひろばを徹底解剖いたします!

キッズスペース

カーペットが敷かれており、親子でゆっくり過ごせる空間です。あべ弘士さんの絵本も設置されています。



駅にしているような看板

かば館側に設置された看板。駅にも設置されている看板をイメージしました。



ハグハグチェア

実際に使われていたハグハグチェア。色々な動物たちと一緒に記念写真を撮ることが出来ます。さて、どのハグハグチェアが好きですか? また、実際に使われていたシートに、耳付きシートカバーを設置しました。



支援者一覧

クラウドファンディングでご支援をいただいた方々のお名前の一覧を掲示しています。



あべ弘士さんの絵

元飼育展示係で現在絵本作家である、あべ弘士さんに壁に直接絵を描いていただきました。2日間かけて、たくさんの動物たちが色鮮やかに描かれ、とても楽しくなる空間ができあがりました。



鉄道模型

鉄道模型とジオラマが中央部にあります。旭山動物園と旭川駅を結びイメージで制作されました。とても細かな作業で、精巧に再現されています。旭川駅や旭橋、そしてカプセルZooを用いて、旭山動物園を再現しています。



車両を模した記念撮影場所

旭山動物園号1号車を模した記念撮影ができる場所です。中に入って車両に乗っているような写真が撮れます。とても人気です!



2019年11月17日(日) オープンセレモニー

クラウドファンディングを始めてから約5ヶ月。484名の方々の思いが形になりました。セレモニーにはたくさんの関係者、そして来園者に見守られながらオープンしました。本当にありがとうございました。





飼育研究レポート

～チンパンジー・ニナの群れ移動～



旭山動物園では2006年に起こった当時アルファオスであったキーボとその息子のシンバの闘争をきっかけに、近親交配を避ける意味でもキーボ群とシンバ群(2015年の死亡後は弟のピースケ群に移行)の2群れでチンパンジーを飼育してきました。

そんな中、2019年の夏頃からピースケ群れのニナ(メス、6歳)に発情が見られ始めました。野生では8歳くらいから発情が始まりますが、飼育下では6歳くらいで出産することもあります。困ったことにニナの父親であるシンバはピースケの兄で、ニナがこの群れで繁殖すると近親交配になってしまいます。考えた結果、キーボ群へ移動させることにしました。(キーボはニナの祖父ですが高齢で、若いオスのキャロは繁殖制限のためにパイプカットをしているため)。

さて、キーボ群への移動が決まったものの、そう簡単ではありません。群れで暮らすチンパンジーは入ってきた個体を排除する可能性があるからです。

当園では初めての経験になるので、AZA(アメリカ動物園水族館協会)のチンパンジー飼育マニュアルを参考にしました。マニュアルによると、1)格子越しにお見合い、2)いくつかの組み合わせで同居、3)全体と同居、と進めるのがよさそうでした。

11月5日、まずはニナの隣の部屋にキーボ群れを入れてみました。大人のオス(キーボ、キャロ)や子ども達(ハルキ、ガッツ)は頻りにのぞきに行きますが、大人のメス(フルト、イヴ)はあまり興味がなさそうです。ニナは少し格子に近づく様子もありましたが、一人になった不安の方が多かった様子でした。

11月7日にはキーボ群れの誰かと1対1での同居をすることにしました。ここで問題なのは誰と一緒にするかです。力の強い大人のオスは危険ということで、いつもおっとりしているイヴが選ばれました。

一緒にした最初は様子見をしていた2頭でしたが、何かのきっかけでイヴが興奮し、ニナを攻撃してしまいました。すぐにニナは逃げて大事にはなりませんでしたが、その後は距離を取って過ごしていました。

初日からすんなりとはいかず、飼育担当者と頭をかかえましたが、ここでめげてはいられません。次の日は違

うメスということでフルトと一緒にしてみました。イヴと違うのは子どものガッツと一緒にということです。子どもと一緒にだと子をかばうために母親であるフルトが怒るかも?と心配しながらの同居でした。ところが一緒にしてみるとガッツとニナは良好なコミュニケーションをとってくれました。時折ガッツが鳴くとフルトが怒ることもありましたが、フルトとニナも挨拶を交わして、イヴの時とは違った様子でした。

さらに翌日はキーボ、その次の日はイヴとハルキという流れで徐々に一緒にする個体を増やしていきました。やはりイヴはちょっと苦手そうで、子ども達は時折いたずらがエスカレートするものの、おおむね上手くやっている様子が見られました。

そして11月11日、最後に残ったキャロを合流させます。キャロは若い大人のオスで力も強く、最も一緒にするのを心配していた個体です。ところが、合流してみると誰よりもやさしいアプローチでニナに寄っていきます。ハルキがちょっかいを出すと、ニナを守る行動までしてくれました。結局、一番無難そうなイヴは苦手な相手となり、心配していたキャロが一番やさしいという結果となりました。



一番やさしかったキャロと一緒に安心?

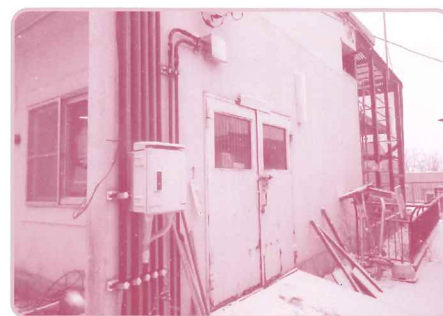
これらの同居へ試みはすべてバックヤードで行っていましたが、11月17日からは室内展示も開始しました。まだ、完全に群れに馴染んだわけではなく、時折けんかもありますが、時間が経つにつれて解決していくと思われれます。

今回の群れ移動を経験して、チンパンジーの社会性の高さやコミュニケーションの多様さを感じました。

(獣医師・中村)

動物園裏側紹介

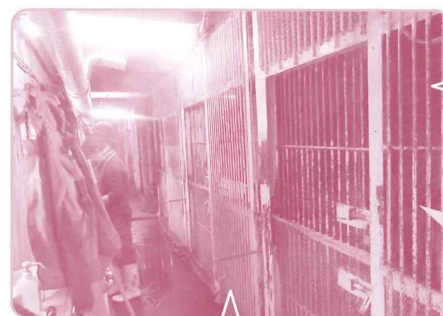
「サル舎」編



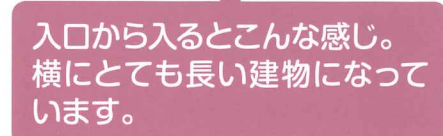
飼育員の出入り口です。右側に少し見えるオリはワオキツネザルの展示場。

東門から階段を降りてすぐ、くもざる・かびばら館と園路を挟んで反対側にあるサル舎。

タイプの違う三種類のサルの仲間を展示している施設です。寒さが苦手なサルたちなので、冬期間の展示はしていませんが、サル舎の裏側をのぞいていきましょう。



部屋がズラッと並んでいます。手前からワオキツネザル、アビシニアコロブス、ブラッサグェノンという部屋割りです。



入口から入るとこんな感じ。横にとても長い建物になっています。



ワオキツネザル

みんな元気です!



/警戒してます\

アビシニアコロブス



ブラッサグェノン



離れた部屋同士も上のほうにある通路で繋がっています。これをひらけば端から端までひと繋がりにできます。

この枝葉もエサです。コロブスの仲間は植物を消化するのが得意で、葉などをよく食べます。



台所もあります。野菜や果物はここで切って準備します。



固型飼料など。きれいに整理されています。



現在サル舎展示場は工事中。令和2年度夏期開園からリニューアルオープン予定なので楽しみにしてください。



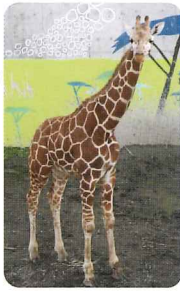
サル舎飼育担当 佐藤さんよりひとこと

3~4月は暖かい日に外に出ていることがあるかも?? サル舎の近くを通ったらチェックしてみてくださいね。

主なできごと

2019年

9月24日 アミメキリン♂永友(えいと)
死亡



27日 第51回旭川市旭山動物園
児童動物画コンクール表彰式

10月 1日 アビシニアコロブス♂ギガース
よこはま動物園ズーラシアより搬入

5日 幌延町青年部による食農教育活動イベント

12日 動物図書館絵本の読み聞かせ

17日 ヨーロッパフラミンゴ 10羽搬入
うち1羽死亡

28日 シロテテナガザル♂こだま、東武動物公園
へ搬出

シセンレッサーパンダ♀雲雲、アドベン
チャーワールドへ搬出

31日 エゾモンガ♂死亡

11月 3日 夏期開園最終日

「わくわくゲーム大会」開催

「旭川市民感謝デー」実施

4日 冬期開園準備作業のため休園～10日まで

11日 冬期開園(4月7日まで)

「飛行機でつながる」名古屋-旭川

コラボスタンプラリー実施

17日 ～走る絵本～

旭山動物園号ひろばがオープン



イベントのおしらせ

2月6日～11日の6日間、「雪あかりの動物園」を開催します(最終入園は20:00まで、閉園時間は20:30)。

厳冬期の夜、園内はアイスキャンドルの明かりが灯されて幻想的な雰囲気の中、動物たちはどのように過ごしているのでしょうか?

寒い時期ですが、是非足を運んでご覧になってください。



編集後記

冬期開園となり、動物たちの行動にも変化が見られます。夏の暑さが苦手な動物が、冬には寒空の下で生き生きとしている姿が観られたりします。

是非、真冬の動物たちの姿も見に来てください。(高橋)

最新情報はここでチェック!!



公式HP

Facebook

Twitter

Instagram

モユク・カムイ No.103 2020年1月15日

●発行所/旭川市旭山動物園

〒078-8205 旭川市東旭川町倉沼 ☎0166-36-1104

●発行人/坂東 元 ●表紙絵/中田 真一

●編集/高橋 伸広・大内 章広・鈴木 悠太・中村 亮平
佐賀 真一・中田 真一・中野 奈央也

●印刷/株須田製版: 〒070-8045 旭川市忠和5条8丁目3-1 ☎0166-62-2266

飼育動物数

2019年11月末日現在

- 哺乳類 44種・305点
- 鳥類 50種・360点
- は虫類 5種・20点
- 合計 99種・685点